

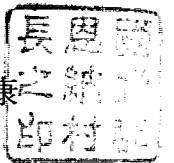


恩 建 第 846 号

平成20年10月22日

国土交通省道路局長 殿

恩納村長 志喜屋 文康



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のあった件を、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様 式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

沖縄県 恩納村

- ・現在事業中のバイパス（恩納、恩納南）は計画どおり速やかに事業を進めるべきである。
- ・現在整備中のバイパス（恩納、恩納南）が完成した時点で現在の58号線は沖縄県に引き継ぐと聞いているが、当村においては現国道が通過する地域は県内でも有数のリゾート地であることを考慮すれば、バイパス開通後も現道を直轄国道として管理してもらいたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様 式 ②

沖縄県 恩納村

○現状

- ・隣村（宜野座村）と直接連結している道路がない。

○課題

- ・隣村（宜野座村）と直接連結している道路が無いいため、他の市町村を迂回してアクセスしている状況である。直接連結する道路の整備が必要。

②-2 地域の目指すべき将来像

沖縄県 恩納村

・本村の道路網は、南北を縦断する国道58号線を中心に、東西方向を結ぶ県道6号線、104号線、うるま市～仲泊線、屋嘉恩納線などの幹線道路があり、国道、県道、村道が整備されている。国道58号線については広域幹線であることから週末や観光シーズンには交通量が増大し、交通渋滞や集落環境の悪化などの影響がでており、そのため、国道バイパスの促進をすると共に村道へのアクセスも考慮し、十分な対策を講じていく必要がある。

又、沖縄科学技術大学院大学の開学に伴い、国際的な交流拠点となることも踏まえ、地域交通の利便性を考慮し、観光発展につながる道路行政を実施していく。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

沖縄県 恩納村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価	○その他
・安全・安心の確保 ・観光支援道路の整備	・国道の道路線形の改良や立体化 ・無電柱化事業 ・恩納村海岸・緑の自然回廊整備 ・国道沿いの眺望ポイントの整備 ・表示・看板等の改良	・交通事故の抑制が期待できる。 ・電線類を地中化することにより道路景観の向上、安全で快適な歩道空間の確保が期待できる。 ・国道沿いや当村の景勝地（万座毛）へと連結する周辺道路や海を眺めながら散策出来る遊歩道を整備することにより観光を活性化させる。 ・車を駐車し自然景観を楽しむポイントを整備し、観光活性化を図る。 ・中国語・韓国語・英語を取り入れた看板や表示に改良することにより、外国人観光客に配慮を行なう。	